

飯能名栗エコツーリズムにおける 里地里山エコツアー巡検から

谷 地 隆

1. はじめに

近年話題の「ニューツーリズム」は、従来型のマストツーリズムとは異なり、顧客のニーズに応える新しいツーリズムのありかたとして注目を集めている。その一つの「エコツーリズム」にスポットを当て、筆者が出講している駿台トラベル&ホテル専門学校におけるエコツアーをもとに考察していきたい。

1年次で学んできた「エコツーリズム基礎」(座学)をより効果的に学ぶために「実践エコツーリズム」として2年次で実習を行なうこととした。その一つは、一般募集されているツアーに参加することでこれを客観的に見ることである。もう一つは、学生自らツアーを企画立案し、旅行手配し運営することで主観的にこれを体験することを目指すものである。

2. エコツーリズムとは

2003年に設置された国の「エコツーリズム推進会議」(議長:小池百合子環境大臣)では、エコツーリズムとエコツアーを次のように定義している。エコツーリズムとは、自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し、学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任をもつ観光のあり方、としている。エコツアーは、

エコツーリズムの考え方を実践するツアー、としている。

環境省では、エコツーリズムの普及を推進する上で、全国にモデル地区を指定しており、3つのタイプを設定している。飯能名栗地区は、このうち、「タイプ3 里地里山の身近な自然、地域の産業や生活文化を活用した取組み」の指定を受けている。因みに、3つのタイプとは以下の通りである。

タイプ1 豊かな自然の中での取組み

モデル地区: 知床、白神、小笠原、屋久島

タイプ2 多くの来訪者が訪れる観光地での取組み

モデル地区: 裏磐梯、富士山北麓、六甲、佐世保

タイプ3 里地里山の身近な自然、地域の産業や生活文化を活用した取組み

モデル地区: 田尻、飯能名栗、飯田、湖西、南紀熊野

3. 飯能名栗でエコツーリズム

飯能名栗でエコツーリズムを行うにあたり飯能名栗エコツーリズム推進協議会では、3つの基本方針と飯能名栗のエコツアーの目標を定めている。この方針に基づいて、飯能名栗を訪れた方に

満足していただきながら、ふるさとの自然と文化の保全に役立つエコツアーを行っていく(図1)。

飯能名栗エコツアーの実施結果についてみると、ツアー数と参加者は、2005年度から実施された飯能名栗エコツアーであるが、ツアー数・参加者数は年々増加傾向にある(図2)。飯能エコツアーのフィールドは東京に近く参加しやすいという立地条件にある。2007年度の実施時期は、時期別の

ツアー数は春季22、夏季17、秋季20、冬季10で季節によるばらつきがみられる。陽気な春季のツアー数が最も多いが、学校単位やグループ参加が期待できる夏季の団体ツアーが多いのが特色である(図3)。実施地区は、飯能名栗エコツーリズムの基本方針として「すべての地域と人の参加」を掲げて事業を実施している。2006年度まで加治地区では実施されていなかったが、2007年3月にツ



図1 飯能名栗エコツーリズム基本方針

資料：飯能市エコツーリズム推進室パンフレット

飯能名栗エコツーリズムにおける里地里山エコツアー巡検から

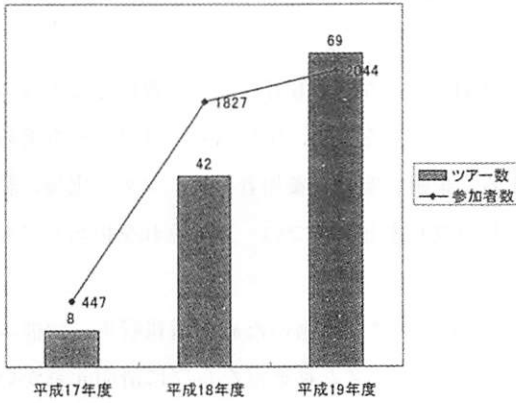


図2 ツアー数・参加者数の推移

資料：平成19年エコツーリズム推進事業業務委託報告書

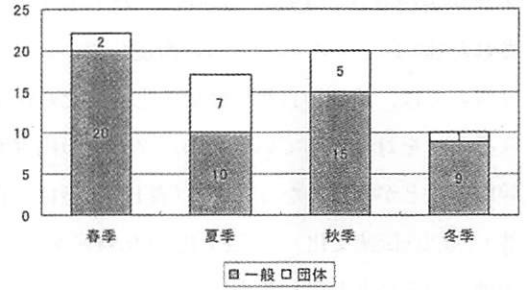


図3 時期別ツアー数

資料：平成19年エコツーリズム推進事業業務委託報告書

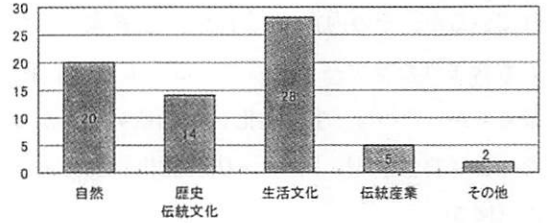


図5 類型別のツアー数

資料：平成19年エコツーリズム推進事業業務委託報告書



図4 各地区のツアー数

資料：平成19年エコツーリズム推進事業業務委託報告書

ツアーが実施され、すべての地区が 2007 年度達成された(図 4)。ツアーの種類は、飯能名栗エコツーリズムでは、地域の自然・歴史・生活文化ら伝統産業までを対象としているため、ツアーの内容も幅広いことが特徴となっている(表 1)。類型は、「自然」「歴史・伝統文化」「生活文化」「伝統産業」「その他」の 5 つとしているが、これらは完全に区分されるものではなく複合的である。事実、私達が参加した「芋づくしのたび」は生活文化に分類されているが、その内容は、「自然」「伝統産業」なども含まれたツアーとなっている。集計の結果、最も多かったのは「生活文化」型で、次いで多かったのは「自然」型、「歴史・伝統文化」型であった(図 5)。

4. 学生立案のエコツアーおよびアンケート結果

そこで、埼玉県飯能市が主となって推進している「飯能名栗エコツーリズム」を取り上げ、そこでこの地域で行なわれているツアーに参加することで客観的にエコツーリズムのひとつのタイプ「生活文化」型の「芋づくしのたび」(主催：清明元気かい)を、6月1日と11月9日の2回同一地域のツアーに参加し、実際に学んでみようというものである。

については、6月ツアーでは、飯能名栗エコツーリズムでのツアー参加をより有意義に学ぶため以下のことを、学生への課題として取り上げてみた。

1. 飯能名栗地区とはどういうところだろうか？
2. 参加するツアーについての商品知識は？
3. ツアー参加者への事前説明としてはどのよ

うなことがあるか？

4. 現地対応はどうか？

11月ツアーでは、6月ツアーで習得した実践エコツーリズムを基に、学生自らエコツアーを実施する。企画立案から参加者募集、ツアー実施、終了後の取りまとめまでの一連の流れを担当してもらう。

1. エコツアー企画のための情報収集 - 飯能エコツーリズム推進室ならびに清明元気かいへのコンタクト。
2. 旅行企画 - 旅行計画立案、プログラムの設定。
3. 旅行参加者募集(セールス) - 旅行募集案内書作成(図 6)、呼びかけ方法、参加の取りまとめ。
4. 旅行実施のための準備 - プログラム内容の確認、参加者への連絡、説明会、参加費用請求、説明資料およびアンケート用紙の作成。
5. 旅行実施 - 出発集合案内、現地プログラム、アンケート用紙回収。
6. 総括(旅行終了後) - 参加費用等の経費精算、学校への終了報告、ツアー実施者への挨拶(お礼状)。

以上のような流れでエコツアーを実施した。6月ツアーの学生への課題では、募集案内で集合場所の記載ミスがあったものの、概ね順調に実施できたようである。畑仕事ばかりではなく、付近の自然探訪を行い有意義な時間を過ごせた。スタッフは、インタープリターとして練られ、みごとなインタープリテーションであり、ホスピタリティーであった。卵・野菜・お茶などの即売を行っており、食育教育を踏まえたプログラムが組み込

飯能名栗エコツーリズムにおける里地里山エコツアー巡検から



- 1 日時 11月9日(日)
- 2 集合時刻 7:15 (17:00 油袋解散予定)
- 3 集合場所 油袋駅(西武口宝くじ売り場前)
- 4 持ち物 動きやすい服装、飲み物、履きなれている靴、軍手、帽子、
雨具
- 5 参加費用 ¥3,900(交通費(油袋～飯能間)¥450×2、ツアー代¥3,000)

行 程
7:15 油袋駅集合—7:34 発(西武油袋線)~ 8:17 飯能駅到着
9:30 飯能市精明公民館集合 → 9:35 芋掘り畑へ (オリエンテーション)→ 9:45~11:00 さつまいも収穫体験
11:00~12:00 さつまだんご・すいとんづくり
12:00~13:15 昼食、休憩 (おいしいおにぎりや漬物も！)
13:15 焼き芋づくりとあぜ道の散策(田圃風景を見ながらお散歩)
14:40 ティータイム(お茶と焼きたての焼き芋)
15:20 ミーティング・解散
17:00 油袋駅解散(予定)

参加希望者には詳しい案内を配布するので、

環境・福祉旅行学科2年 阿部・西尾まで。

※なお、雨天順延です。順延日は11月16日(日)です。

----- (きりとりせん) -----

参加者氏名	
クラス出席番号	
緊急連絡先	() — —

10月24日(金)昼休みまでに参加費と共に阿部・西尾まで提出してください。

図6 学生作成の募集パンフレット



1-1 サツマイモ（紅アツマ）植え。マルチ（カバー）がけで一汗。



1-4 リアカーにて里山散策、子供達はおおはしゃぎ。



1-2 昼食前のザリガニ釣り、餌はスルメ。



1-5 高級食材の黒米も栽培している。



1-3 昼食風景、野趣一杯のお昼ご飯。



1-6 農家に立ち寄り、スナックエンドウの収穫、もぎたてをパクリ！

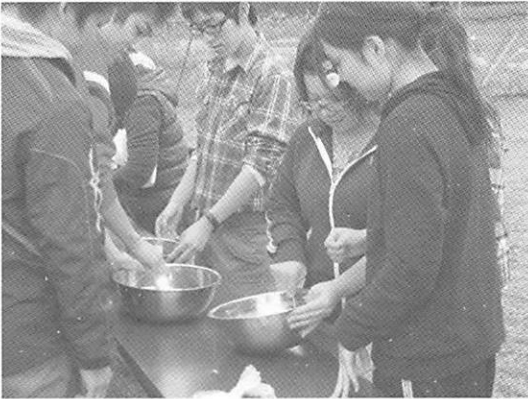
飯能名栗エコツアーリズムにおける里地里山エコツアー巡検から



2-1 春植えた芋の収穫、大きさにビックリ！



2-4 昼食後のヤマイモ掘り、1本のまま掘り上げるのは困難。



2-2 郷土料理のすいとんとさつまだんご作り。



2-5 今度は三味線の登場、プロ顔負けのパフォーマンスだ。



2-3 自分で掘った芋を、ホクホクの焼き芋にして食べる。



2-6 地産地消、身土不二を知る。

平成 年 月 日

「 」アンケート

本日は、飯能名菓のエコツアーにご参加いただきまして、ありがとうございました。今後のツアー実施の参考にさせていただきたいと思っておりますので、アンケートにご協力ください。

◆性別 ①男性 ②女性 ◆年齢 () 歳代 ◆住所 都道府県 市区町村

◆職業 ①自営業 ②農林業 ③会社員 ④公務員 ⑤団体職員 ⑥専業主婦 ⑦学生 ⑧無職 ⑨その他 ()

◆飯能名菓のエコツアーは何回目の参加ですか？
①1回目 ②2回目 ③3回目 ④4回目 ⑤5回以上

◆本日のツアーをどこでお知りになりましたか？（複数回答可）
①広報はんのう ②パンフレット（公民館 バス その他： ） ③知人の紹介
④新聞・雑誌・広告（名称： ） ⑤ホームページ（名称： ）
⑥ダイレクトメール ⑦その他 ()

◆ガイドの内容はどうか？
①面白かった ②わかりやすかった ③普通 ④専門的すぎて難しかった
⑤物足りなかった ⑥その他 ()

◆スタッフの対応はどうか？
①とても満足 ②ほぼ満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

◆お食事はどうか？（食事つきツアーの場合）
①とても満足 ②ほぼ満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

◆ツアーの日程（スケジュール）はどうか？
①忙しかった ②ちょうどよかった ③ひまで時間をもてあました

◆参加費はどうか？
①内容のわりに、かなり安かった ②内容のわりに、まあまあ安かった（理由：
③ちょうどよかった
④内容のわりに、少し高かった ⑤内容のわりに、とても高かった

◆ツアーに参加して、自然や環境、歴史文化等について新たに知ったことや、再認識したことがありましたか。また、それはどのようなことでしたか？（複数回答可）
①新たに知った [] ②再認識した [] ③特になかった

◆ツアー全体としてはいかがでしたか？
①とても満足 ②ほぼ満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

全体の感想、ご意見、印象に残ったこと、新しいツアーの希望などがありましたらお願いします。

図 7-1 飯能市作成のアンケート用紙

飯能名栗エコツーリズムにおける里地里山エコツアー巡検から

平成 20 年 11 月 9 日

飯能エコツアー アンケート

年齢 _____ 歳 性別 男 ・ 女

1. エコツアーに参加されるのは、今回が初めてですか? はい ・ いいえ

いいえと答えた方は、以前何回エコツアーに参加されましたか? _____ 回

2. 今回のエコツアーに参加して楽しかったですか?

とても楽しかった ・ 楽しかった ・ 普通 ・ つまらなかった

3. では、2 で答えた理由を具体的にご記入ください。

[]

4. 精明元気かいのツアースタッフに関しての感想をご記入ください。

[]

5. 駿台学生スタッフ（阿部・西尾）に関しての感想をご記入ください。

[]

ご協力ありがとうございました。

図7-2 学生作成のアンケート用紙

まれていた。この意味では、グリーンツーリズムもカバーしたエコツアーであった(写真1)。11月ツアーでは、6月ツアーに参加した学生が主体的に行動してもらい、上記の1のエコツアー企画のための情報収集から6の総括までのメニューをすべてこなし、みごとなツアー実施であった(写真2)。ここで、飯能エコツーリズム推進室作成のアンケート用紙と学生作成のアンケート用紙には視点が異なることもあり内容にかなり差異がみられた(図7)。年齢を問うとき、学生アンケートでは何歳と細かく聞いているが、顔見知りのため答えにくい人もいるので、この欄は大まかに何歳代くらいにしておく方が良い。細かいところであるが、学生達はこのような所にも気を配るべきである。6月・11月ツアーともレポートを提出させ、指示事項が述べられているかどうかをみた。学生により若干のバラつきがみられたが、ほぼ指示事項は記載されていた。

飯能エコツーリズム推進室で作成した2007年度と2008年度のアンケート集計をみてみると(2007年度より2008年度は質問項目が増えている)、2007年度では、回答者の属性、性別:男性5人、女性10人。年齢:10才未満1人、30代4人、40代1人、50代5人、60代4人。職業:自営業2人、会社員5人、公務員2人、団体職員1人、専業主婦3人、学生1人、無職1人。居住地:飯能市内3人、市外11人、無回答4人。ガイドの説明内容:面白かった80%、分かりやすかった13%、面白かった+分かりやすかった7%。スタッフの対応:とても満足100%。食事:とても満足87%、ほぼ満足13%。ツアーの日程(スケジュール):ちょうどよかった86%、忙しかった7%、無回答7%。参加費:かなり安い53%、まあまあ安い7%、妥

当33%、無回答7%。ツアー全体の満足度:とても満足87%、ほぼ満足13%。2008年度では、回答者の属性、性別:男性17人、女性14人、無回答1人。年齢:10才未満1人、10代5人、20代6人、30代7人、40代4人、50代3人、60代3人。職業:自営業1人、会社員11人、公務員3人、団体職員3人、専業主婦2人、学生7人、無職1人、その他4人。居住地:飯能市内3人、市外29人。参加回数(新項目):1回15、2回10、3回3、4回3、5回以上1。ガイドの説明内容:面白かった70%、分かりやすかった12%、面白かった+分かりやすかった6%、普通9%、無回答3%。スタッフの対応:とても満足82%、ほぼ満足9%、普通9%。食事:とても満足72%、ほぼ満足28%。ツアーの日程(スケジュール):ちょうどよかった97%、ひまを持てあました3%。参加費:かなり安い25%、まあまあ安い19%、妥当47%、少し高かった6%、無回答3%。ツアー全体の満足度:とても満足67%、ほぼ満足33%であった。ここで、注目されるのは2007年度より2008年度の方が全項目に対して少し辛めの評価となっている。この結果の要因はいろいろなことが考えられるが、参加者の平均年齢が若年化したことや天候に左右されたと思われる。2007年度ツアーでは、天気がよく富士山がくっきり遠望できたこと、2008年度ツアーでは、終日ぐずついた天気で、ツアー後半には雨になったのが評価に多少影響しているようだ。ツアー内容でも、芋掘りだけではなく落花生掘りも体験している。2008年度も自然薯(ヤマモ)掘りがあったが、参加人数に制限があり、全員参加ではなかった。しかし、スタッフは臨機応変に、他の参加者にムカゴ(ヤマモの葉の付け根に生ずる珠芽)取りを提供したり、あぜ道を散

飯能名栗エコツーリズムにおける里地里山エコツアー巡検から

策し水田や小川の生き物を探したり、参加者への気配りがみられた。参加児童においては自然観察の良い機会でもあった。地元を熟知し、愛着がなければできないことである。この意味では当地におけるエコツアーは完成度の高いツアーと思われる。学生側のアンケートでは、全般的に好意的な評価であったが、「添乗業務としてはもう少しメリハリのある案内や指示をしてほしい」という鋭い指摘もみられた。これに答えるよう学生も、総括で「今回は今までの集大成という形で挑んだエコツアー。中略。何かと至らない部分があったとは思いますが、初めのころと比べると確実に力がつたような自信が持てるような回答もいただいたので謙虚に自信にしていきたいと思います。反省点をいかし、今回の添乗よりも良い作品をプロデュースできるように精進します」と、旅行業人としての気迫が伺えた。

5. おわりに

今回のツアーで、2年生は総括的な集大成とし位置付け、旅行業現場においてもより精度の高いインタープリターとして今回のエコツアーが役に立つことを願い、1年生は来年度に向けての予察的位置付けとして実入りのあるツアーであったと思う。インタープリターとはガイド（通訳）である。エコツーリズムにおけるインタープリターは、自然環境における草木のざわめき、小川のせせらぎ、鳥獣・昆虫たちの鳴き声を、ツアー参加者に「自然の言葉」を分かりやすく通訳することを生業としている。エコツアーを担当する諸君らには、ツアー参加者により一層自然を愛し慈しめる心を伝えられるようなインタープリターになって頂き

たい。特に1年生は来年度のツアーをどのように企画立案・実施を行うか期待したい所である。今回のエコツアー参加において、学生および筆者自信、飯能の生活文化に触れ合うとともに、地産地消、身土不二を如実に体験できた意義は大きい。さらに他の飯能名栗エコツアーや他の地域で実施されているエコツアーにも参加し、種々の内容の違いを理解することも重要である。また、エコツアー実施者どうしの情報交換などの相互扶助により、より満足度の高いツアーを作り上げていくことを期待したい。

謝辞

本文作成に当たり、多くのデータを提供して頂いた飯能市エコツーリズム推進室の大野裕司氏に厚く御礼申し上げます。また、有意義なツアーを実施して頂いた「清明元気かい」（代表宮寺政幸氏）のみなさん、一緒にツアーに参加し、写真・貴重なご助言を頂いた駿台トラベル&ホテル専門学校講師の小野鎮先生、企画立案・ツアー実施した同専門学校2年生諸君、ツアーに参加し協力的に行動してくれた1年生諸君に深く感謝申し上げます。

参考引用文献

- 飯能市 「平成19年度 エコツーリズム推進事業業務委託 報告書」. 2008年.
- 飯能市 飯能名栗エコツーリズムホームページ. 財団法人社会経済生産性本部 「レジャー白書」. 2007年.
- 財団法人日本交通公社 「エコツーリズム」. 2004年.

ABSTRACT

From the Excursion on the Satoyama Woodlands Eco Tour, a Part of Hanno-Naguri Eco Tourism

Takashi YACHI

The purpose of participation with a prepared tour of Hanno-Naguri Eco Tourism was understanding of Eco Tourism and observation of students' planning, invitation, and conducting in the tour.

They are expected to achieve precisely assignments prepared for this tour and to be active in the tourism industries in future.